

刊夕日二月一十

常磐每日新聞

定額一紙五錢 一月一元五角 半年七元五角 一年十四元
 廣告料五錢 十二字一紙 一行五錢 五字三錢
 日曜祭日の翌日休刊
 發行所 常磐每日新聞社 常磐市常磐町三丁目
 電話 六三〇
 印刷所 常磐每日新聞印刷株式会社 常磐市常磐町三丁目



人生の花となれ

眞繼雲山

(一) 私には四人の子供があるが、何れも胸白盛りで食事のときなど、一家團樂のつもりで圓卓をかこむも、笑ひさんざめく日ばかりはなく何んのかんのと小言のこゝろにや、すべつたころんだがやかましので、囊頃一つの憲法をつくり、汝等の言論は自由であるも食事の時だけは美しい景色の話より外は一切まかり成らぬと厳命した、なか／＼注文通りにはゆかぬがたま／＼風景の話でも出ると一同それだけ食事が旨い。

關本石尊礦泉

島田忠夫

とりどりに花を競へる秋ぐさや湯の裏山の崖はたに見ゆ
 秋ぐさの露けき中に花摘みて足冷えしかば湯にひたるなり
 山みづのたぎち流るゝ水音や裏山にして雉子の啼くこゑ
 年どしに痔を病むわれもこゝに來て温まりたれおほによろしき
 松かげに石尊佛は在すゆえ佛のめぐみ湯と湧くならむ

西洋料理で卓上に草花を並べるのは私の憲法を生地で持つてゐるのである、私がかつて盃道樂に耽つたことがあつた、旅行した序で序でに名所の盃を一個づつ頂戴して歸り(時には料理屋からも失敬し)女房相手の

ノート

洋髪に一番よい手
 料理用のサラダ油に適宜の香料をまぜたもので結構です、かうして拵へたものは洋髪には此上なしの油でございます

晩酌の時にもそれを持ち出してこれは安藝の宮島の盃これは二見ヶ浦の盃といふ風に食膳に並べてみるとそれを口にする度に當時の

笑話

雨の中を傘もささず悠々と歩いてゆく人がある。雨の中を傘もささず悠々と歩いてゆく人がある。雨の中を傘もささず悠々と歩いてゆく人がある。

「そんなにくつくり歩かないで走つたらどうですか」と忠告すると、彼氏落着いて曰く「ありがたう、然し先の方も降つてゐるから走つても無駄です」

平町新川端(釜屋新宅向)
内科 難波 睦
 醫學博士
 電話五〇二一番

吸入用酸素純度 99%
 計量器
 モノサシ
 マス
 ハカリ
 秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
關内藥局
 電話四〇番

内科小兒科花柳病科
藤沼醫院
 入院需應
 平町紺屋町
 電話五〇七番

斯界の權威!!!
大塚の靴
 自製編上靴 六圓
 學生靴 女學生半靴 五圓
 紳士靴 弊店自慢の流行新形
 平町町
大塚製靴部
 電話七七番

葬具と
 靈柩自
 動車御
 用達
造花
 町川新町平
屋本橋
 電話一六三番

産名城磐
出賣節銀幣

魚問屋
 店理代平命生本日本大最優最
 榮盛賀志
 番三一電 目丁四平

漆器の御買入時
 漆器は空前の大暴落を致して居ります。再び得難き最低絶好の御買入時です。
 (共) は漆器を専門に在庫品を豊富に取揃へ
 各位の御満足を得るに努力致して居ります此の絶好機に御求めを切に御奨め申上げます。御満足を得るやう!如何様にも御相談に應じます故是非一度御照會を。
 各國産漆器専門卸小賣
共榮漆器店
 (平町3丁目36元郵便局裏通)
 店員募集 十二三才...小役員優遇す
 三十才迄...外交員

耳鼻咽喉科専門
 氣管食道科
 平南町(電話一七〇番)
大和田醫院

火災避難の方法を

小學生に訓練

防火宣傳デーの當日に

旗行列で全町に繰り出す

平町各小學校にては来る五日の防火宣傳デーに非常變災に對する生徒の避難方法を實演を訓練する爲め同日午前八時より各校長の防火に對する講演あり避難訓練を終つて同十時より第一小學校に集合の上、旗行列を行ひ各生徒が全町に繰り出し市民の防火心涵起に努むる由

磐城高運動テスト 等女學校にては来る四日全學年生活に對し走技、跳技、投技のテストを左の時間順に行ふ

午前八時半	四年
同 九時半	三年
同 十時半	二年
同 十一時半	一年

磐中の給費生

現在六名

其爲め退學率が
昨年よりも減少

磐城中學校に於ける特志獎學會より給與を受けて居る生徒は現在六名あるが其の爲めか本年度退學生は去月迄に卅六名にて昨年の同期三十九名に比し二名少くな

促成栽培

分場で講習

石城郡神谷村農事試験分場では来る十二日午前九時よ

營業支所

執務開始

吏員昨日任命

既報昨日より開設された營業取締平支所は同日付を以つて支所長に久之濱支所次席目黒誠之氏、吏員とし

前町長の

慰勞金協議

四日の町會に

平町役場では来る四日午後一時より町會を開會し左記議案を附議すると

- △臨時出納検査員選舉に關する件
- △前町長の慰勞金給與に關する件
- △七年度平町歳入歳出豫算更正の件
- △寄附採納に關する件

石城郡本年度

入營兵々科別

最も多いは小名濱の十八名

本年度に於ける石城郡下各町村よりの入營兵は合計三百十五名であるが兵科別に依ると歩兵廿九聯隊の六十六名を最高にして

歩七四(四三名)輕二大
(三六名)獨歩二大(廿名)
鐵一(一八名)野砲二 野砲廿五(各一七名)工二(一五名)近歩三 水兵機關兵各(一四名)飛行五

等であり町村別入營者數は小名濱の十八名が最高で次は平、植田の各十五名、内郷の十四名であつて飯野の五名、小川、三坂、川部、湯本等が各六名は最も少ない方である

武道競技

平商試合の結果

既報平商業學校にては昨日午前十時より柔道青天目武

川、阿部、劍道麻原、藤井の各氏審判の下に武道大會を開催したがクラス對抗の戦跡及び剣道高点は左の

一年乙17	22	一年甲
二年乙14	16	二年甲
三年乙19	12	三年甲
四年10	15	五年

△劍道

二年乙3 — 2 二年甲
三年乙3 — 2 三年甲
四年4 — 1 五年
二年乙2 — 3 三年乙
三年乙3 — 4 四年
△劍道高ポイント(紅組)十一
一年坂本昇 九點一年小
野美夫 五點一年田中忠
愿 四點三年塚本茂(白
組) 九點五年須藤徳太郎
六點四年本田秋 四點一
年沼田六郎 同三年飯塚
正壽

初等教育研究

石城郡下小學校教員初等研究會は本日午前十時より第一小學校に於て開かれたが出席指導は左の如くであつた

(平)小林武夫(平三)石田伸六郎(草野)木田芳重(好間)佐藤正太郎(上遠野)折笠博茂

航空生の受付

平町役場では近く逓信省航空局の依託により本年度同局の飛行操縦生志願の願書を受付る事になつたが詳細は同役場に問合されたし

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雑誌が

自由に讀める

川崎巡回文庫

電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

祝十週年

阿部政右衛門

平町搔槌小路電話四五八番

關内正一

平町二丁目電話一六番

伏見彦衛

平町長

青沼鋒太郎

佐々木龍若

平町四軒町電話二九八番

磐城共濟病院長

石山謙郎

山田忠太郎

平町三丁目

平町軍人分會長

藤田榮助

木澤常松

平町古鍛冶町

佐藤三平

石城郡内郷村電話四三〇番

久野ひさ

平町三丁目

今晩限り

映畫觀賞招待會

午後六時より平館と世界館に

招待券御持参の方木戸全然無料

◇お早くお出を願ひます

十週年謝恩の催し 常磐毎日新聞社

平小唄が

レコードに吹込る

和洋合奏で賑々しく

平小唄は作曲家町田嘉章氏の肝煎りに依つて来る四日ニットウレコードに吹込まれる事となつた、同吹込みの唄は洋楽家にて伴奏は三絃及びオーケストラの和洋合奏であるから非常に派手を極め同レコードが全國に賣出される時には代表的な小唄として絶讃を博するであらうと期待される

伏見總理と お別れの會

は昨夕午後五時半よりマルトモホールに於て前總理伏見彦衛氏及び前會長伏見チヨ夫人の送別會を開き記念品を贈呈したが出席者は三十餘名にて頗る感激に満ちた會合であつた

果物屋 夜逃げ

損害一千圓
平署に告訴

平町二丁目果物問屋津屋屋事津島武藏(三)は去る卅一日夜郷里に行くに稱して家族を引連れ荷物は一トラツク

若者は沖へ

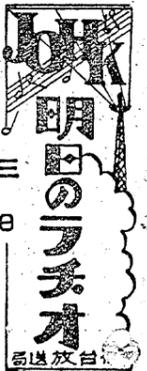
漁濱の農家は

稲の刈入れに人不足

石城郡江名及び豊間等の漁港に於ける農家は目下刈入れの多忙時であるのに近海に押寄せた秋刀魚の大漁で血氣の若者は殆んど沖に出て仕舞つて手傳をなす者が無いので炭礦方面に人を

金物窃盜檢舉

石城郡内郷村字町田七八居住難夫石川權(三)は去月十四日より町田坑内で銅鐵類約三十餘圓の物を窃取した事發



明日のラヂオ
今晩は北東の風、北雨模様、明日は北東の風、小雨、午後より良くなる見込

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間
獨唱と兒童劇、童謡獨唱、島田兒童舞踊研究所、兒童伴奏、島田アンサンブル、獨唱、岡島小夜子、岡島喜代子、兒童劇、落葉の踊
後六、二五 英語講座「初等科」(十八) 岡倉由三
後六、三〇 講演 佐藤次郎

明日の部

前九、三〇 奉祝唱歌「明治節君ガ代」女子放送合唱團

定刻前早くも満員

映畫觀賞會の盛況

愛讀者各位大満足にて

本紙熱愛の空氣濃厚

既報本紙創刊十週年記念愛讀者慰安映畫觀賞會第一日の昨夕午後六時半より

豫告の通り平館及び

世界館の二ヶ所に於て開催されたが秋の一夜を此の絶好の機會に映畫觀賞の慰樂に過ごさんとする愛讀者續々と兩館目掛けて押掛け既に定刻前壽司詰の盛況を呈したが

兩館共 自信ある名畫

揃ひの事として入場者一同大満足にて世界館は地方素養界の雄として知られた館主鈴木寅次郎氏平館は先般の

前二、〇〇 記、壽演「明治大帝の鴻業を偲び奉りて」子爵高倉永則

前二、〇〇 記、壽演「明治大帝の鴻業を偲び奉りて」子爵高倉永則

前二、〇〇 記、壽演「明治大帝の鴻業を偲び奉りて」子爵高倉永則

前二、〇〇 記、壽演「明治大帝の鴻業を偲び奉りて」子爵高倉永則

前二、〇〇 記、壽演「明治大帝の鴻業を偲び奉りて」子爵高倉永則

前二、〇〇 記、壽演「明治大帝の鴻業を偲び奉りて」子爵高倉永則

高久防火協議

石城郡高久村青年訓練所生は

日午前八時より小學校にて明治節の遙拜式後來る五日の防火運動當日の實施法に就いて協議を行ふと

農作物展覽會

上遠野が準備

石城郡上遠野村農會では來る七日午前八時より同村小學校に於いて農作物展覽會を催すべく準備中である

平裁判たより

石城郡勿來町大字出藤大日本炭礦勿來坑五三ノ一採炭夫田宮幸次郎(三)は後備陸軍工兵一等兵であるが本年八月三日午前七時本籍山形縣最上郡新庄町小學校に

後二、四〇 管絃樂日本放送交響樂團指揮ニコライシフエルブラット

後二、四〇 管絃樂日本放送交響樂團指揮ニコライシフエルブラット

後二、四〇 管絃樂日本放送交響樂團指揮ニコライシフエルブラット

後二、四〇 管絃樂日本放送交響樂團指揮ニコライシフエルブラット

後二、四〇 管絃樂日本放送交響樂團指揮ニコライシフエルブラット

後二、四〇 管絃樂日本放送交響樂團指揮ニコライシフエルブラット

平職業紹介所報告

回人を求める方

△雜夫 四十才以下 尋卒 日給七十錢位(平町某)

△農夫 二十五才迄 尋卒 月八圓位(四倉町某)

△女中 二十才 尋卒 給料面談(平町某)

△大工徒弟 十八才 尋卒 仕着小遣(神谷村某)

△回職を求める方

△雜夫 十七才 高一修 給料面談(平町某)



【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第百九十席 平手造酒

飯岡の助五郎は子分元吉の言葉に

助「何うしてその勘次が泥棒だ」

元「それは何でございますまア聞いておくんない、今では繁藏の子分岩松と名を改めてゐるさうで、なま空を使つてお念佛を唱へ如何にも眞人問らしく見せてゐるが小者が甲州に居た頃あいつは身延山下で上州の絹商人を殺して三百兩取りました」

助「ウンさうかそんな事とはチツとも知らなかつた」

元「ねえ親分、そんな悪い奴を子分にして置く繁藏は表面は博奕打のやうに見せて居るが、皮をむくとどんなぼろが出るか知れぬえ油断が出来ませぬぞ」

助「ソームさうかな、ではその岩松は甲州の博奕打か」

元「へエさうでございませぬ」

助「その絹商人を殺したは今から幾年程前の事だ」

元「さうですね、十年にもなりますか」

助「さうか、誰にもこの事は云ふな」

元「へエまア繁藏に油断してはいけません、人殺しをして金を取つた奴を承知で子分にする程ですからどんな悪い見を有つてゐるか知れません」

と話したが助五郎はよい事を耳にしたと喜んだ、それ



は岩松事勘次を捕縛して同時に云ふ悪黨を匿ひ置いたと云ふ罪で繁藏にも繩をかけ江戸に送るつもり、江戸へ送れば勘次は死刑、繁藏もそれに連り重い咎めを受けねばならぬ、さうなれば助五郎に取つては後の

事と思ひます」

繁「イヤあいつは此頃賭場を覗いた事もなし暇さへあれば南無阿彌陀佛とお念佛ばかり唱へてゐる博奕はしなからう」

民「變り者でございませぬお念佛を唱へて往生を願う

勢ひを除く殊にさうなれば憂ひ繁藏の繩張りも自分のものになると思つた、話變つて此方は繁藏、助五郎がそんな執念深い企みを抱いて自分を陥れやうとしてゐることは知らない

繁「民や」

民「へエ何でございませぬ」

繁「二三日岩松が見えねえが何うした」

民「へエ何處へ行きましたか未だ歸つて来ません」

繁「あいつは若い者頭をしてゐるから家を明ける事はねえが珍らしいな、こんな留守にするとは……」

民「賭場へ入り込んでゐる

ほどならばこんな稼業をしねえが宜うございませぬ、どうせこちららは死ねば地獄へ行くと決つて居ります、冥土へ行つたならば三途の川の婆アさんの着物を剥ぎ取り渡し錢を引擧つて打つ資本を拵へようと云ふ意氣がなければこの仲間に入る事は出来ませぬ……がへエお出でなさいませぬ、親分岸島屋さんがお出になりませぬ」

と云つたがこの岸島屋さんは佐原の川口にゐる八州取締り役人の下を働く目明し、目明しと云へば今の刑事、江戸では其頃これを岡ッ引と云つた、岸島屋は名を権兵衛と云つて下總から常陸へかけて相當に名の賣れてゐる者、それで家は料理屋をして娘が飯岡の助五郎の妾です

繁「これは岸島屋さん珍らしいな」

民「御無沙汰致しました一寸お話し申す事が御座いますして出ましたか」

繁「それは、御苦勞で御座います、川口の親分が来なすつた、さア水を取つて差上げな」

岸「イヤもうお構ひ下さいませぬ、時に親分今朝程八州見廻りの役人が私共へお出でになりました、此方にゐる岩松の事について少し聞きたい事がある、繁藏を呼んで来てくれとかう申され、それで私が出て来ましたが」

繁「ア、さうですかあの岩松の事で彼奴め二三日前か

ら此處を出た儘歸つて参りませぬ、何處へ行つたかとも今も若い者と噂をして居りましたが、其岩松の事に付いて私に御用とは一體何んな事で御座いますか何か間違ひでも起しましたか……」

と日頃の岩松を知つてゐる繁藏は不審さうに岸島屋権兵衛に尋ねました。

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 腸胃病 腸虫病

林病 門專

院醫科 院醫科

○七一話電

食事 喫茶

市原醫院

平町田町

電話一四番

學生服賣出

温かい丈夫な黒小倉通學服を豊富に取揃へ特價にて提供

小學用(長ズボン付) ¥0.80

全……特製品 ¥2.00

中學用特製品 ¥2.90

ふかや洋服店 平 電203

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

江戸前料理 合巻

紅葉狩にはぜひ錦水の折詰辨當を御供させて下さい

▼出前! 迅速! ▲

錦水

電話四五四番

醫院開業

私儀二十三日より左記の場所に於て耳鼻咽喉の診療に従事致し居り候間御眷顧之程奉願上候也

平町字中田町七〇番地(電話六九一)

山内醫院

醫學士 山内享吉

耳鼻咽喉科専門